

平成20年度 第1回小平市図書館協議会要録

- 1 日時 平成20年5月22日(木) 午後2時～4時30分
- 2 会場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：11名 欠席1名 傍聴者：1名
- 4 配付資料 資料については、省略させていただきます。
- 5 議題等

(1) 報告事項

- ① 職員の人事異動について(資料No.3)
4月1日付で市職員人事異動に伴い、図書館で中央図書館長を含めて9名の異動があった。
- ② 図書館運営状況について
 - ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.4)
4月1日から5月6日まで全図書館で「こだいら子ども読書月間」に取り組んだ。
5月22日から3回にわたって「読み聞かせ実践講座」開催
5月24、25日小平図書館友の会主催の「古本市」開催予定。
7月3日「大人のためのおはなし会」実施予定。
 - ・平成20年度月別館別貸出状況について(資料No.5)
4月だけでは前年度より貸出資料数が約5,500点増加している。
中央・花小金井・喜平図書館の貸出が多い。
 - ・平成20年度広域利用市別貸出状況について(資料No.6)
東村山市の利用が多い。広域だけでなく相互の利用が進んでいる。
- ③ 平成19年度事業報告について(資料No.7)
貸出資料数等全体にマイナスだが、花小金井図書館と喜平図書館は増加している。
- ④ 平成19年度学校図書館支援センター事業について(資料No.8)
平成20年度も学校図書館協力員と図書の配送便を継続する。
- ⑤ 平成20年度蔵書点検について(資料No.9)
例年どおり6月に実施する。3グループに分けて実施するため、貸出等はどこかでできるが、蔵書点検館のリクエスト資料の移送は点検後になる。返却はブックポストが利用できるため、貸出期間の延長は行わない。
- ⑥ 平成20年度司書講習への職員派遣について
今年度も3名の職員を司書講習に派遣する。
- ⑦ 平成20年度ブックリサイクル事業について(資料No.10)

ポスター、チラシ、ホームページ等で周知する。

⑧ 平成20年度子どもの読書推進活動優良実践図書館文部科学大臣表彰受賞について

- ・子どもが積極的に読書活動の意欲を高める優れた図書館とのことで、4月23日に小平市中央図書館が表彰された。
- ・子ども文庫連絡協議会や学校との連携、おはなし会・読書月間等の行事、乳幼児向けブックリストの作成など、地域の子どもたちへのサービスが高く評価された。

< 報告事項についての質疑応答 >

- 委員： 月別館別登録者数が平成19年から20年は増加しているのに、20年4月にマイナスなのは何か理由があるのか。
- 事務局： 1年間でなく4月の1か月だけなのでこういう統計になった。
- 委員： 登録者数は、転居等で利用しなくなっても届けなかったりするもので、右肩上がりで増加することはないのか。
- 事務局： 5年毎に利用者カードの更新をし、利用していない人は利用停止にするので、一定期間毎に整理される。
- 委員： 図書の購入冊数でリクエスト購入はどの位の割合か。
- 事務局： 一般書は概ね5%位である。
- 委員： リクエスト購入の基準は。
- 事務局： 蔵書基準にあった本としている。高価な本は借用することが多い。新刊本は購入することが多い。
- 委員： 新刊購入の本はどの位の期間で入るのか。国会図書館では購入してから70日ぐらいかかるらしいが。
- 事務局： 通常だと注文してから約2週間で入る。
- 委員： ・月別館別貸出数はその館が所蔵している資料の貸出数か。
・小平市の市民が広域の図書館をどれぐらい利用しているのか。
- 事務局： ・借用本も含めてその館で貸出した数である。
・小平市立図書館事業概要（平成18年度）の69ページの広域利用統計に詳細が掲載されているので参考にしてほしい。
- 委員： 小平の市民が西東京に借りに行く人が多いが、地の利が便利だからか。
- 事務局： そうだと考える。
- 委員： 相互貸借数は多いか。他市から借りた貸出数はどうか。
- 事務局： 小平市立図書館事業概要（平成18年度）の15ページの相互貸借の資料から多いことが分かる。有効利用されている。
- 委員： 市民一人当りの貸出数は他市と比較してどんな位置か。
- 事務局： 手元に資料がないので確認して回答する。
- 委員： 小平市の図書館は蔵書冊数が多いので、圧倒的に貸していると思ったが、そうでもないことが分かった。どんな本を借りているのか。
- 事務局： 都立図書館からは現在手に入らない本・専門書・高価本など。市町村立

図書館からは所蔵のない本など、雑誌も借りている。

委員：多摩六都の図書館で収集分担はあるのか。雑誌は分担があってもいいのではないか。

事務局：現在のところ分担はしていない。

委員：他市を利用する方は、勤めている方か、近隣にお住まいの方か。

事務局：休館日がずれているので利用する方、東村山市・小平市両方の図書館を利用する方、多摩六都の全市の図書館を利用する方など様々である。

委員：嘱託職員の方々にも読み聞かせの講座に参加してもらいたい。

事務局：自主学習会に参加してもらっている。

委員：レファレンス受付件数で津田図書館の参考調査の件数が多いのはなぜか。

事務局：所蔵調査と参考調査が混在していると思われる。

今後は統計をきちんとしていきたい。

委員：メールでレファレンスを受け付けてほしい。

事務局：三多摩で2市、都内で5区がメールで受け付けている。

現在は、都立図書館を紹介しているが、できる限り実現の方向で検討していきたい。